

平成30年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	サイデン化学アリーナ(さいたま市記念総合体育館)
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市桜区道場4-3-1</p> <p>②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。</p> <p>③施設の概要 平成15年6月1日開館 建築面積 13,894.53㎡ 建物面積 17,739.75㎡ メインアリーナ、サブアリーナ、多目的室、温水プール、トレーニング室、フィットネススタジオ、弓道場、ランニングコース、会議室、研修室 他</p>
(3)指定管理者	<p>スポーツのまち さいたまパートナーズ</p> <p>※代表企業 コナミスポーツ(株) 構成企業 日本メックス(株)、(株)埼玉新聞</p>
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成30年4月1日～平成35年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成28年度:130,000千円、平成29年度:130,000千円、平成30年度116,311千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 【利用件数】240,339件(244,030件) 【利用人数】481,018人(490,374人) 【利用率】メインアリーナ:79.1%(79.3%)、サブアリーナ:75.9%(79.2%)、多目的室:76.4%(73.4%)</p> <p>◇業務実施状況 ・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) ・公共施設予約システムによる貸出し管理 ・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など)</p>
	<p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備点検 年2回 ・自家用電気工作物点検 月次・年次 ・大型空調機保守点検 月1回 ・エレベーター保守点検 月1回 ・自動ドア保守点検 年1回 ・事業系一般廃棄物収集運搬業務 週3回 ・産業廃棄物収集運搬処理業務 年1回 ・自動制御設備点検 年1回 ・中央監視装置総合点検 年1回 ・建築設備定期検査 年1回 ・特殊建築物定期調査 3年に1回 ・プール水水質検査 月1回 ・プール濾過設備保守点検 年2回 ・プール可動床保守点検 年1回 ・体育器具保守点検 年1回
	<p>③その他(自主事業等)</p> <p>スポーツ教室(プール教室、空手教室、チアダンス、キッズダンス、初心者卓球教室、親子DEスポーツ教室、ママとベビーの体操教室、弓道教室等)の開催、スポーツフェスティバルの開催、無料開放事業(エンジョイサタデー)の開催</p>

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入108,266千円（前年度108,889千円） ・指定管理料116,311千円（前年度130,000千円） ・自主事業39,473千円（前年度53,676千円） <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費118,903千円（前年度107,240千円） ・事務費39,689千円（前年度25,758千円） ・施設管理費108,399千円（前年度134,484千円） ・事業費14,176千円（前年度24,577千円）
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>【利用者アンケートの実施】</p> <p>平成30年9月1日～9月30日及び平成30年11月15日～12月10日の2回行った。</p> <p>故障していたトレーニング器具等を修理対応をした。従来、日中にしか設定をしていなかった水泳教室を夜間に新設した。</p>
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
イベント開催年2回開催することで、市民のスポーツへの関心を高める。	9月24日にスポーツフェスタを実施し、無料開放事業を行った。3月2日には体力測定会などを競技大会と同時開催し、大会参加者のみならず多くの利用者に体験していただいた。
地域連携事業年7回開催し、施設を利用したことのない方にきっかけづくりを行う。	職場体験学習を中学校5校受け入れを実施した。桜区民祭り・ミニ桜区の協力を行った。
教室開催5,400教室開催し、スポーツ実施する機会の創出を図る。	平成30年度に5,400教室を超える自主事業を開催し、利用者にスポーツの行う場所の提供を行った。
スポーツコミッションと連携をはかる。	年2回(5月及び12月)の打ち合わせを行い、誘致大会の開催内容等について意見交換をした。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

<p>【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ロビーに地域住民が立ち寄れる、施設利用者がくつろげるよう新聞を設置した。 ・市民ロビーに子供達が季節のぬりえを書けるようにぬりえコーナーを設置した。 ・トレーニングルーム初心者説明会の回数を増やし、利用者の利便性の向上に寄与した。 ・Wi-Fiを設置し、インターネットに接続しやすい環境を整備し、利用者の利便性の向上に寄与した。 <p>【経費の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が内部で使用する資料は、個人情報記載のない裏紙を使用するようにしている。 ・利用していない施設の照明を消灯するなど、光熱費の削減に努めた。 <p>【適正な管理運営の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物設備に関するマニュアルを整備し、不具合発生時はマニュアルに沿って設備員に連絡が入り早急に対応できる体制としている。 ・安全管理、地震対策マニュアルが整備されており、事故発生時に関する対応方法も明確にしている。 ・プールの残留塩素測定を午前8時～午後9時まで1時間毎に実施し記録を行い、異常が確認された場合には直ちに是正している。
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

WIFIの設置を行い、インターネット接続のしやすい環境づくりをし、市民サービスの向上を図った。
スポーツフェスティバルでは、トップアスリートを招聘したイベントや多くの無料体験コーナーを設けることで、利用促進を図った。

【経費の削減】

円滑で無駄のない予算執行を心がけ、節電努力や裏紙の再使用などにより、光熱水費などの経費を抑えた。

【適正な管理運営の確保】

協定書等に従って業務を適切に履行し、施設点検等を行った。

2 総合評価

他施設、他自治体での指定管理者経験を生かし、適正な施設管理が行われた。施設の整備を積極的に行い、施設の安全性の確保、設備の保全に努めた。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・利用者アンケートを踏まえた利用者満足度の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認